

NY マーケットレポート (2017年8月3日)

NY 市場では、序盤に発表された米雇用関連の経済指標が、予想より良好な内容となったものの、その後に発表された米 ISM 非製造業景況指数が 2016 年 8 月以来の低水準となったことや、雇用指数が 2 ヶ月連続の低下となったことが嫌気され、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。そして、米国債利回りの低下が続いたことから、ドル円・クロス円は軟調な動きが続いた。

また、終盤にモラー米特別検察官が、ロシア問題の調査で大陪審を設置との報道を受けて、ドルは一段の下落となる場面もあった。

なお、英中銀は、金融政策発表で市場の予想通り主要政策金利の据え置きを決定したが、GDP の見通しを下方修正したことが嫌気され、ポンドは大半の主要通貨に対して下落となった。また、世界経済に対する先行き懸念も連想され、比較的安全な通貨とされる円を買う動きも優勢となった。

2017年8月3日(木)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	110.64	110.82	110.57
EUR/JPY	131.02	131.32	130.88
GBP/JPY	146.34	146.63	146.10
AUD/JPY	87.63	88.24	87.59
EUR/USD	1.1841	1.1859	1.1834

LONDON	高値	安値
USD/JPY	110.73	110.34
EUR/JPY	131.11	130.69
GBP/JPY	146.78	145.03
AUD/JPY	87.83	87.52
EUR/USD	1.1858	1.1831

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	109.99	110.52	109.86
EUR/JPY	130.61	131.06	130.46
GBP/JPY	144.55	145.08	144.39
AUD/JPY	87.41	87.75	87.38
NZD/JPY	81.81	81.99	81.72
EUR/USD	1.1874	1.1893	1.1843

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	22026.10	+9.86
S&P500	2472.16	-5.41
NASDAQ	6340.34	-22.31
コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1274.40	-4.00
NY 原油	49.03	-0.56

8/4 経済指標スケジュール

09:00	【日本】6月毎月勤労統計[現金給与総額]
10:30	【オーストラリア】豪中銀 四半期金融政策報告
10:30	【オーストラリア】2Q小売売上高
15:00	【ドイツ】6月製造業受注
21:30	【米国】7月失業率
21:30	【米国】7月非農業部門雇用者数
21:30	【米国】7月平均時給
21:30	【米国】6月貿易収支
21:30	【カナダ】7月失業率
21:30	【カナダ】7月雇用ネット変化率
21:30	【カナダ】7月労働参加率
23:00	【カナダ】7月Ivey購買部協会指数

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.339%	1.355%
3年債	1.475%	1.505%
5年債	1.786%	1.821%
7年債	2.041%	2.084%
10年債	2.219%	2.266%
30年債	2.796%	2.850%

ドイツ10年債	0.453%	0.486%
英国10年債	1.149%	1.236%

8/4主要会議・講演・その他予定

NY 市場レポート

20 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

英中銀 政策金利発表 0.25% (予想 0.25%・前回 0.25%)



出所 : Bloomberg

20 : 00

英中銀声明

- ・「ソーンダース氏とマカファティアー氏が直ちに利上げすることを主張した」
- ・「今年の成長率見通しは 1.7% (従来予想は 1.9%)、2018 年予想は 1.6% (従来 1.7%)、2019 年は 1.8% で据え置き」
- ・「2017 年インフレ率予想は 2.8% (5 月時点と変わらず)、2018 年は 2.5% (2.4%)、2019 年は 2.2% (据え置き)」
- ・「市場金利は現在、2018 年 3Q までに 0.25 ポイント、2020 年 3Q までにさらに 0.25 ポイントの利上げを織り込んでいる」

ポンド/円、10分足、#100

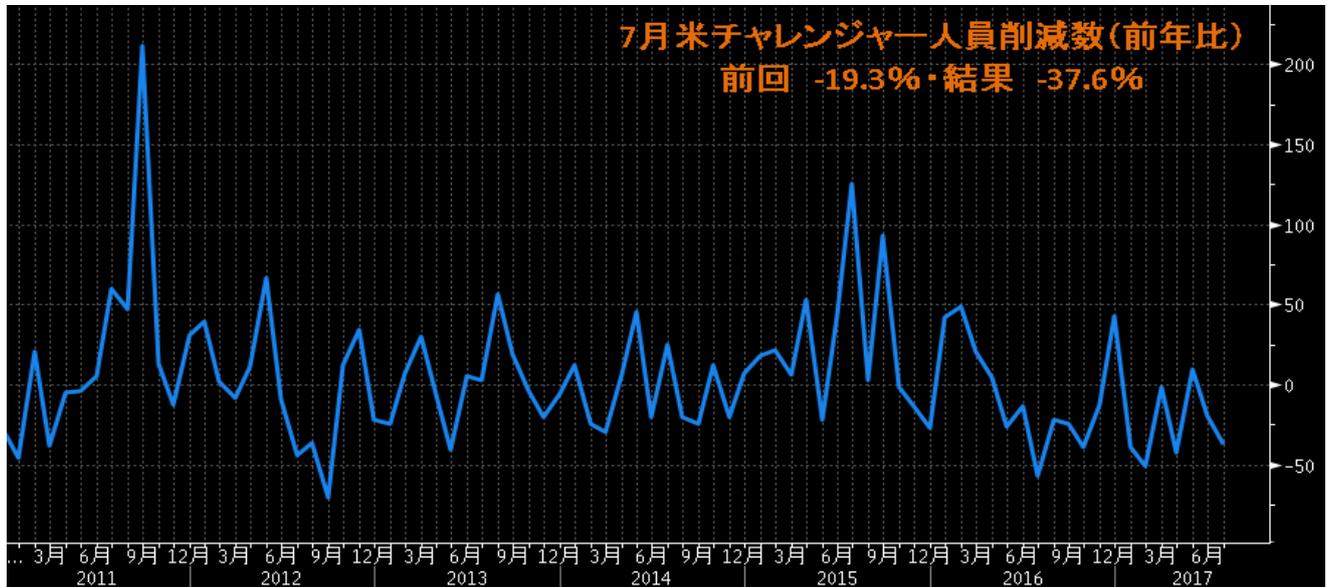


出所 : Net Dania

20 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

7月米チャレンジャー人員削減数(前年比) -37.6%(前回 -19.3%)



出所 : Bloomberg

指標結果データ

◀チャレンジャー人員削減数▶

	7月	6月	5月	4月	3月	2月
合計	28,307	31,105	33,092	36,602	43,310	36,957
前年比 (%)	-37.6	-19.3	9.7	-42.9	-2.0	-40.0
東部	6,340	6,388	7,302	9,120	13,982	11,282
中西部	7,377	6,479	11,430	11,984	10,332	5,190
西部	8,854	12,420	7,188	8,257	14,727	16,310
南部	5,736	5,818	7,172	7,241	4,269	4,175

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

米新規失業保険申請件数 24.0万件(予想 24.3万件・前回 24.5万件)

前回発表の24.4万件から24.5万件に修正

米失業保険継続受給者数 196.8万人(予想 195.8万人・前回 196.5万人)

前回発表の196.4万人から196.5万人に修正

経済指標データ

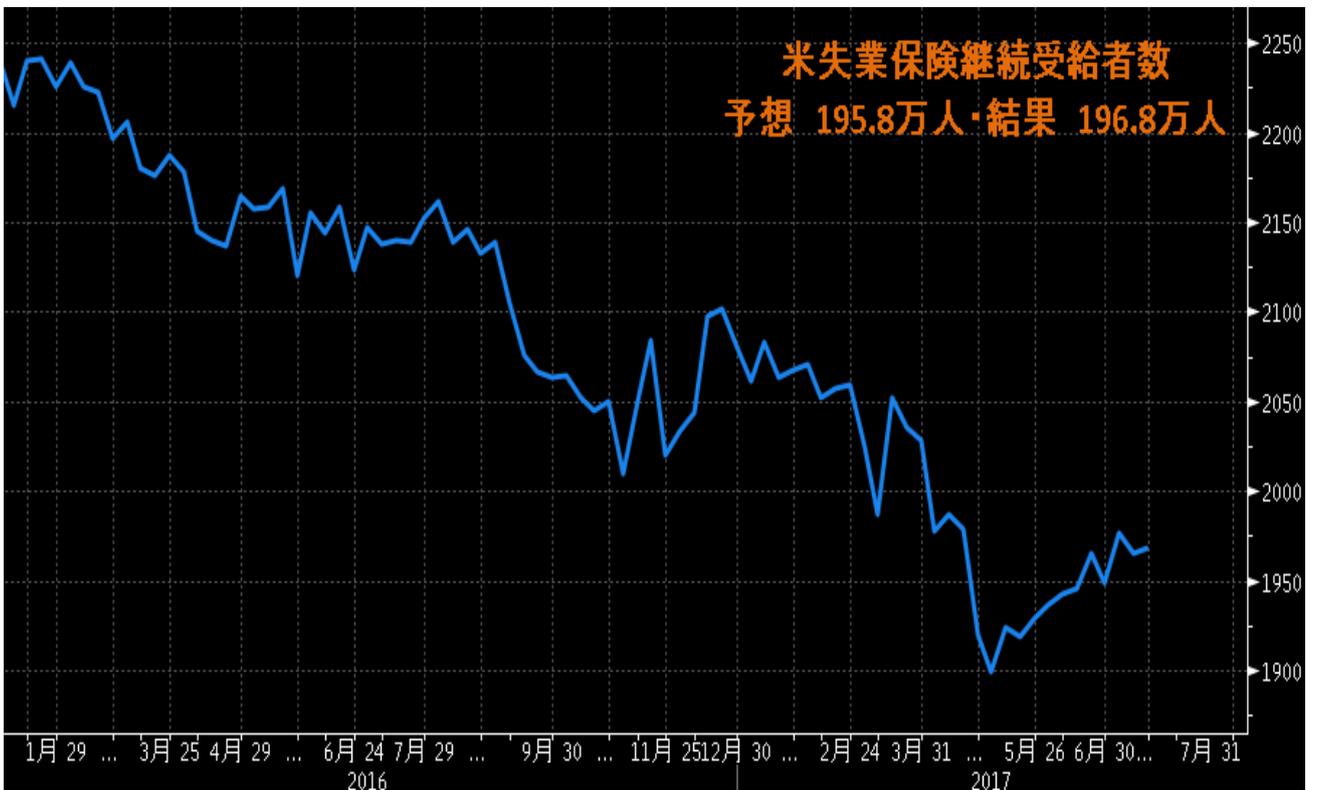
◀新規失業保険申請件数・継続受給者数▶

	申請件数	前週比	4週移動平均	受給者数	受給者比率
17/07/29	240,000	-5,000	241,750	*****	*****
17/07/22	245,000	+11,000	244,250	1,968,000	1.4%
17/07/15	234,000	-14,000	244,000	1,964,000	1.4%
17/07/08	248,000	-2,000	246,000	1,977,000	1.4%
17/07/01	250,000	+6,000	243,500	1,949,000	1.4%
17/06/24	244,000	+2,000	242,250	1,965,000	1.4%
17/06/17	242,000	+4,000	245,000	1,945,000	1.4%
17/06/10	238,000	-7,000	243,250	1,942,000	1.4%
17/06/03	245,000	-10,000	242,000	1,935,000	1.4%

受給者数は集計が1週間遅れる



出所：Bloomberg



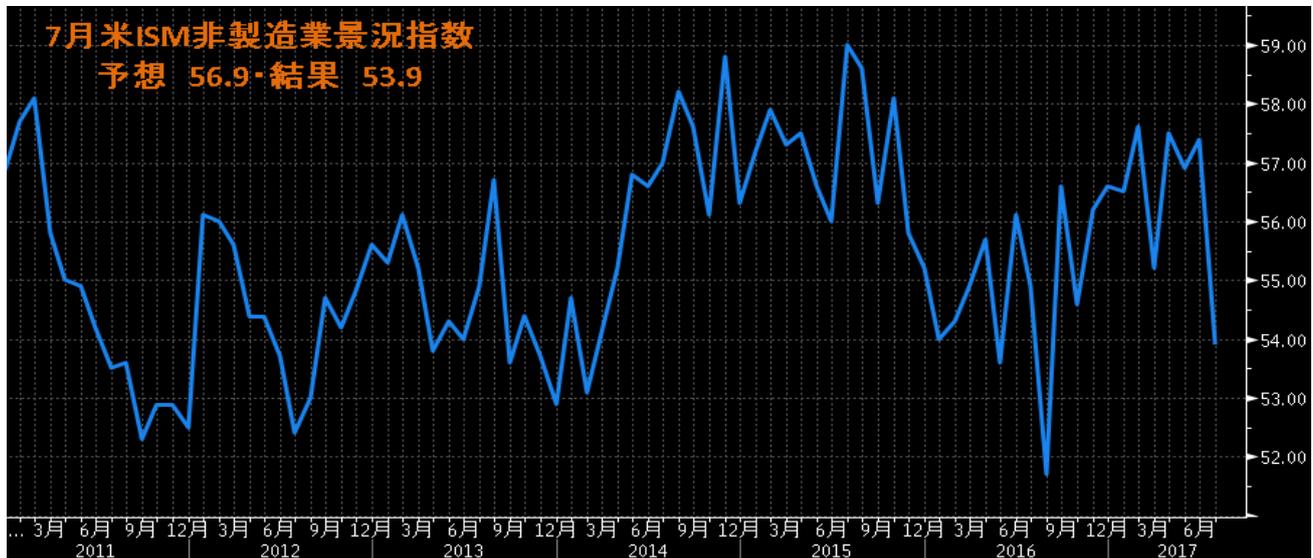
出所：Bloomberg

米失業保険申請件数は、前週比-0.5 万件の 24.0 万件となり、2 週ぶりに減少した。申請件数の 4 週移動平均は、前週比-2500 件の 24 万 1750 件となった。また、集計が 1 週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+0.3 万人の 196.8 万人となり、2 週ぶりに増加。受給者数の 4 週移動平均は、前週比+750 人の 196 万 4750 人。受給者比率は前週と変わらず 1.4%だった。

23 : 00

< 経済指標の結果 >

7月米 ISM 非製造業景況指数 53.9 (予想 56.9・前回 57.4)



出所：Bloomberg

経済指標データ

< ISM 非製造業景況指数 >

	7月	6月	5月	4月	3月	2月
総合指数	53.9	57.4	56.9	57.5	55.2	57.6
景況指数	55.9	60.8	60.7	62.4	58.9	63.6
仕入価格	55.7	52.1	49.2	57.6	53.5	57.7
新規受注	55.1	60.5	57.7	63.2	58.9	61.2
雇用指数	53.6	55.8	57.8	51.4	51.6	55.2

7月米 ISM 非製造業景況指数は、市場予想を下回る 53.9 となり、2016 年 8 月以来の低水準となった。関連指数では、仕入価格が 55.7 (前回 52.1) と前月から上昇したものの、景況指数は 55.9 (60.8)、新規受注は 55.1 (60.5)、雇用は 53.6 (55.8) と、いずれも前月から低下となった。特に、雇用は 2 ヶ月連続の低下となった。そして、15 業種が景況拡大を、2 業種が業況縮小をそれぞれ報告した。



出所：Net Dania

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

6月米製造業受注指数(前月比) 3.0% (予想 3.0%・前回 -0.3%)
 前回発表の-0.8%から-0.3%に修正



出所 : Bloomberg

指標結果データ

◀ 製造業新規受注指数 ▶

	6月	5月	4月	3月	2月	1月
新規受注	3.0	-0.3	-0.3	1.0	0.8	0.4
輸送機器を除く	-0.2	-0.1	0.0	0.2	0.3	0.7
資本財	19.0	-0.9	-1.9	4.7	2.3	-0.3
耐久財	6.4	0.0	-0.8	2.4	1.4	0.3
輸送機器を除く	0.1	0.8	-0.4	0.9	0.3	1.1
輸送機器	19.0	-1.6	-1.6	5.4	3.6	-1.2
受注残	1.3	-0.1	0.2	0.3	-0.2	-0.3

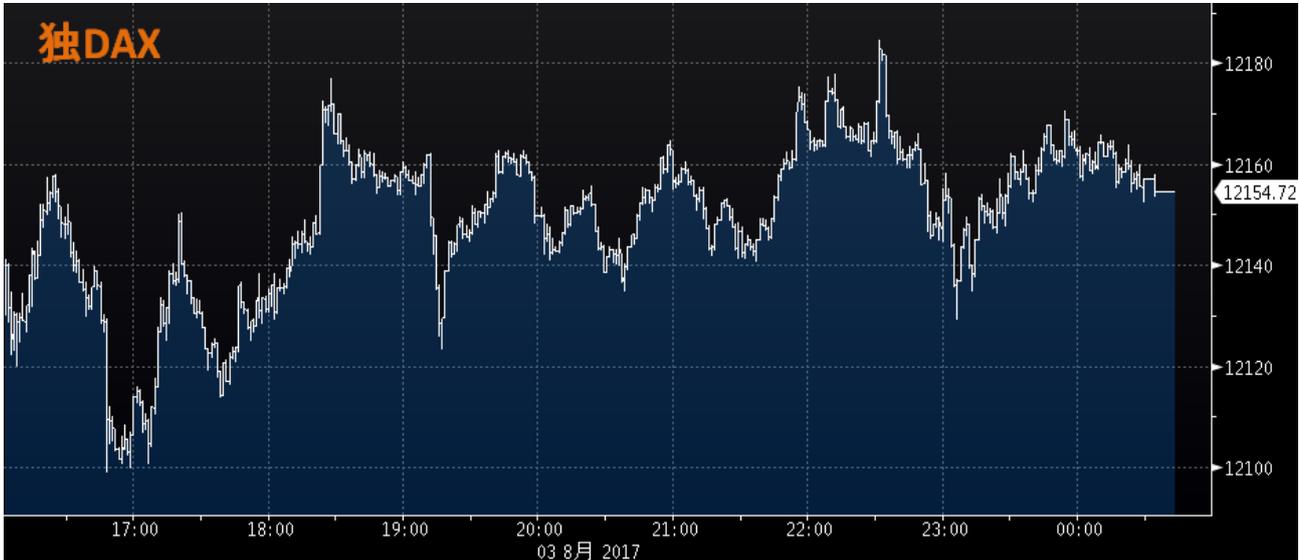
6月の米製造業受注は、前月比+3.0%の4810億8100万ドルとなり、3ヵ月ぶりのプラスとなった。変動の激しい輸送機器を除いた受注は-0.2%となった。民間航空機が大幅増となり、輸送機器が全体を押し上げた。

①耐久財は、前月比+6.4%となり、輸送機器が+19.0%で2014年7月以来の伸び、民間航空機が+131.1%、自動車・同部品が+0.1%、国防航空機は-0.3%だった。また、電機・家電が-2.1%、電算機・電子製品が-0.2%、一次金属は+0.2%、一般機械は+0.4%だった。

②非耐久財は-0.3%となり、資本財が+19.0%と2014年7月以来の伸び、国防関連を除く資本財が+21.1%、民間設備投資の先行指標となるコア資本財は横ばいだった。国防資本財は+3.7%。製造業全体の出荷は-0.2%、受注残高は+1.3%、在庫は+0.2%、在庫は出荷の1.38ヵ月分に相当し、前月から0.01ヵ月分の増加だった。

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。英 FT100 指数は、英中銀が経済見通しを下方修正したことを受けてポンド安が進み、輸出企業の収益拡大期待を背景に買いが優勢となった。一方、独 DAX 指数は、ドイツ企業業績の先行き警戒感が嫌気され、小幅安となった。



出所：Bloomberg

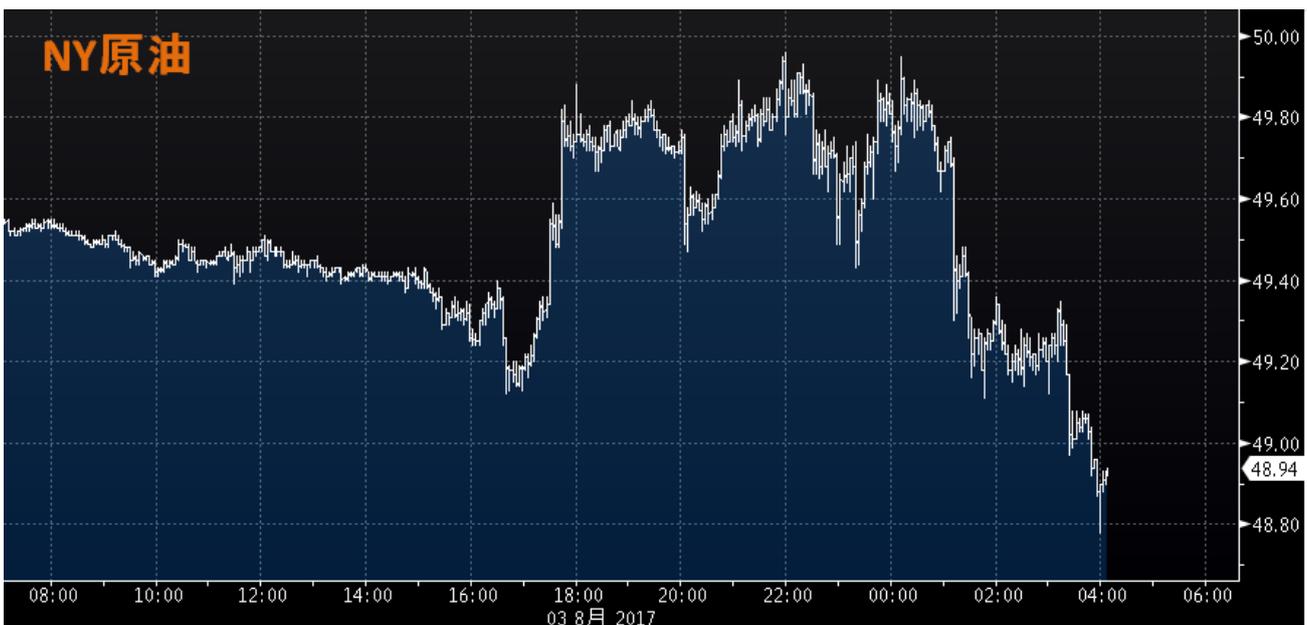
4:30

モラー特別検察官、ロシア問題調査で大陪審を設置との報道

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.56 ドル安の 1 バレル=49.03 ドルで取引を終了した。

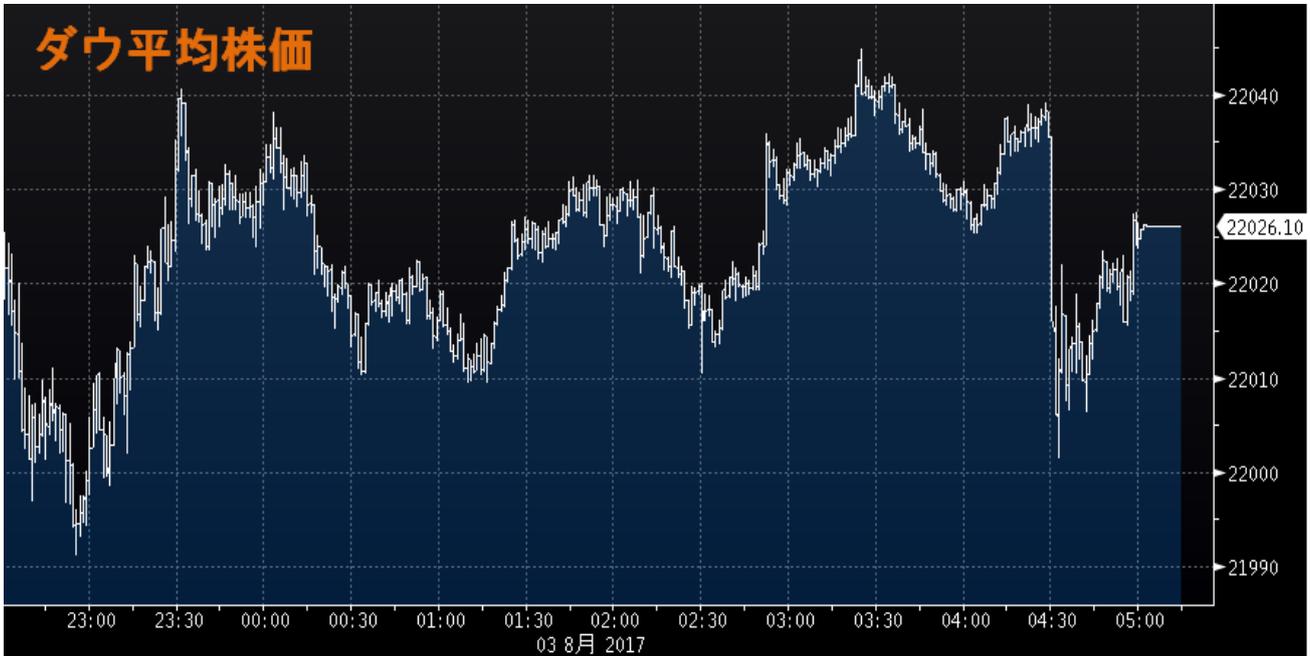
NY 原油は、米国のガソリン需要の高まりを背景に買いが先行したが、その後 7 月の OPEC 加盟国の原油輸出量が高水準だったとの報道を受けて、供給過剰懸念から売りが優勢となった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、ダウ平均株価が6営業日連続で最高値を更新していることから高値警戒感も出ており、利益確定の売りが先行した。ただ、米ISM非製造業景況指数が予想を下回ったことで、米利上げ期待が後退したことや、米主要企業の4-6月期決算が全体的に堅調との見方を背景に、堅調な動きも見られた。ただ、雇用統計を控えて様子見ムードも強く、限定的な動きが続いた。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米雇用関連の経済指標は予想より良好な結果となったが、その後のISM非製造業景況指数が予想を下回ったことで、ドル売りが優勢となった。また、米国債利回りの低下が続いたことで円買いが強まり、クロス円も軟調な動きとなった。



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。